ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

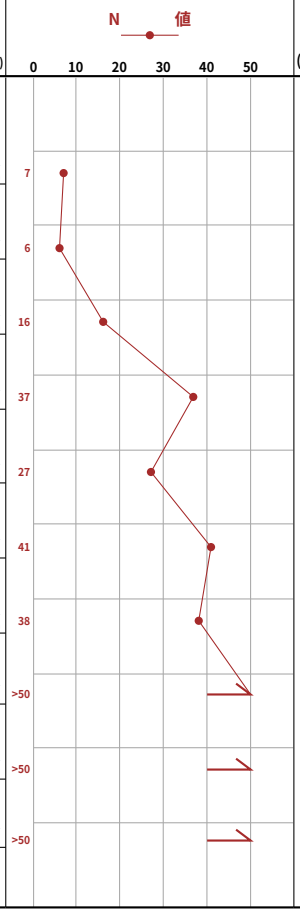
シートNO.

ボーリング名	NO.BV-3(宿2号)	調査位置						北　緯	36 ° 41 ' 18.0000 "
発 注 機 関	栃木県烏山土木事務所			調査期間	2008-11-27 ～ 2009-03-10			東　経	140 ° 05 ' 57.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	142.28 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 33.00 °	使用機種	
総 掘 進 長	10.33 m							試 錐 機	ハンマー落下用具
								エンジン	ポ ン プ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	141.58	0.70	0.70		埋土 (FI)	暗茶褐		軟ら	礫混じり粘土主体。 礫径2から60mmの亜円礫混じる。		
1	141.08	0.50	1.20		表土 (SF)	茶褐		軟ら	粘着中となり、火山灰質の砂混じる。		
2	139.38	1.70	2.90		固結粘土 (CC)	暗褐		中位	粘着中、凝灰質である。 礫径2から40mmの円、亜円礫混じる。含水比は中位。 全体に火山灰質の砂混じる。		
3	131.95	7.43	10.33		粘土混り砂礫 (GS-C)	暗褐	中ぐらい 密な		礫径2から50mmの円、亜円、風化礫主体。 礫間固結状の凝灰質粘土、粗細砂にて充填。 3.80mより密となるが、粘土、砂所々多く不規則に混じる為、ルーズとなる。 5.00m付近含水比は中位から高位となり、やや緩くなる。 6.00m付近より含水比は下位から中位。		01/26 5.21

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0-10	10-20	20-30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2	2	3	7／30	7
2.15	2	1	3	6／30	6
3.15	5	5	6	16／30	16
4.15	12	12	13	37／30	37
5.15	8	9	10	27／30	27
6.15	11	14	16	41／30	41
7.15	13	12	13	38／30	38
8.15	17	20	13／5	50／25	>50
9.15	16	19	15／7	50／27	>50
10.15	30	20／8		50／18	>50



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
1.15	1	A		
2.15	2	A		
3.15	3	A		
4.15	4	A		
5.15	5	A		
6.15	6	A		
7.15	7	A		
8.15	8	A		01/26
9.15	9	A		
10.15	10	A		01/27